

症例研究賞（B演説）一覧

年	総会回	受賞者	演題
2025（令和7）	71（名古屋）	山ノ井 一裕	諸臓器の胃型粘液産生腫瘍における糖鎖修飾消失の、臨床病理学的意義
		天野 雄介	組織形態像に基づく口腔扁平上皮癌の予後解析
2024（令和6）	70（東京）	木原 淳	子宮体部未分化癌の臨床病理学的特徴と診断ピットフォール
		橋本 浩次	Solitary pulmonary capillary hemangiomaの臨床病理学的研究
2023（令和5）	69（久留米）	大江 知里	淡明細胞型腎細胞癌の予後予測および治療戦略に繋がる組織形態解析
		大迫 智	乳腺ALK陽性組織球症の臨床病理学的特徴および病因解明
2022（令和4）	68（盛岡）	浅香 志穂	子宮頸部腺癌の胃型、腸型、ミューラー管型の細胞系列分類に基づいた臨床病理学的解析
		山田 洋介	胸腺上皮性腫瘍における皮質上皮・髄質上皮マーカーの発現に関する検討
2021（令和3）	67（岡山）	笠島 敦子	消化器と呼吸器の神経内分泌腫瘍臓器横断的な分類法の提唱
		法木 左近	オートプシーイメージング（Ai）を用いたホルマリン固定遺体と脳の病理学的解析
		橋本 大輝	大腸鋸歯状病変の新たなサブタイプと考えられるSuperficially serrated adenomaの臨床病理学的特徴・分子生物学的特徴
2020（令和2）	66（浜松）	中黒 匡人	小唾液腺乳頭嚢胞状腫瘍の遺伝子異常と疾患概念の再構築
		穴戸一原 由紀子	薬剤関連の進行性多巣性白質脳症（PML）－脳生検に見られる初期病変の特徴－
		黒田 直人	ALK腎腫瘍12例の臨床病理学的検討
2019（令和元）	65（茨城）	前田 大地	間質性膀胱炎の病理－ハンナ型と非ハンナ型の違いに着目した検討－
		黒瀬 望	突発性多中心性 Castleman 病と TAFRO 症候群の病理像－節性病変と節外性病変－
2018(平成30)	64（広島）	若狭 朋子	日本の妊産婦死亡 解剖が行われた妊産婦死亡症例80例の病理学的検討
		羽尾 裕之	冠動脈インターベンションに関連した病変の病理組織学的検討
		今中 恭子	炎症評価による拡張型心筋症の層別化
2017(平成29)	63（東京）	林 大久生	リンパ脈管筋腫症の臨床病理学的検討
		新井 富生	大腸髄様癌とそれに関連するマイクロサテライト不安定性を示す大腸癌の病理学的特徴
2016(平成28)	62（石川）	松田 陽子	病理解剖検体を用いた膵癌早期病変の臨床病理像の解明
2015(平成27)	61（東京）	草深 公秀	ラブドイド様唾液導管癌（SDCRF）9例の臨床病理学的検討：新しい唾液導管癌の亜型
		羽尾 裕之	剖検例を用いた冠動脈血管内イメージング像と病理組織像の対比
		安田 政実	閉経後AFP産生卵巣腫瘍の臨床病理像：17例の検討
2014(平成26)	60（沖縄）	山口 岳彦	頸椎後縦靱帯骨化症に関する組織学的研究：なぜ軸椎歯突起部に後縦靱帯骨化が生じないのか？
		佐藤 保則	印刷事業場における胆管癌の集団発生
		田中 水緒	胎児診断例を用いた先天性嚢胞性肺疾患の病理学的再分類の試み
		浦野 誠	新しい唾液腺腫瘍・乳腺相類似分泌癌（mammary analogue secretory carci-noma）の独自性について－腺房細胞癌、低悪性篩状嚢胞腺癌との鑑別－
2013(平成25)	59（甲府）	古屋 充子	Birt-Hogg-Dube'(BHD)症候群の臨床病理学的検討
		森谷 鈴子	背景に良性乳頭腫を合併した非浸潤性乳管癌（DCIS）の針生検診断：切除標本50例の教訓
		前田 大地	卵巣microcystic stromal tumor－ β -catenin異常に特徴づけられる新たな卵巣腫瘍の疾患概念－
2012(平成24)	58（名古屋）	菅原江美子	腎癌におけるALK融合遺伝子の同定
		大迫 智	乳腺分泌癌および類似組織型における鑑別マーカーの系統的探索と検証
		植田 初江	心臓移植の病理－50例の経験－
2011（平成23）	57（東京）	浅野 重之	野兔病の臨床的、病理組織学的、免疫組織化学的および分子生物学的検討－皮膚病性リンパ節症としての野兔病について－
		佐々木素子	日本における肝細胞腺腫の臨床病理学的検討
2010（平成22）	56（北九州）	山内 稚佐子	MRIを用いたオートプシーイメージング：8症例の検討
		尾島 英知	胆道領域癌進展様式の臨床病理学的意義に関する検討

		原田 博史	唾液腺原発Low-grade cribriform cystadenocarcinoma(LGCCA)の病理組織学的特徴
		本山 悌一	新カルチノイド症候群の提唱とその民族的背景
2009 (平成21)	55 (東京)	川崎 朋範	乳腺の神経内分泌型非浸潤性乳管癌〔Neuroendocrine ductal carcinoma <i>in situ</i> (NE-DCIS) of the breast〕
		坂元 吾偉	
		加藤 良平	
		竹内 賢吾	
2008 (平成20)	54(松山)	田中 水緒	融合遺伝子BRD4-NUT形成を伴う小児肺癌の2例
		松山 高明	不整脈治療後の心臓の病理学的解析－高周波カテーテル心筋焼灼術後症例での検討－
2007 (平成19)	53(東京)	大井 章史	壁細胞肥大と内分泌細胞の瀰漫性過形成を伴った胃の多発性カルチノイドの1例
		山口 岳彦	
2006 (平成18)	52(和歌山)	永井 雄一郎	新しい卵巣非プレッナー性低悪性度扁平上皮系腫瘍の提唱
		小無田 美菜	肝前駆細胞（Hepatic progenitor cell）と肝癌組織発生について；細胆管細胞癌の検討から
2005 (平成17)	51(東京)	服部 日出雄	神経線維腫にみられる空砲状細胞の免疫組織学的検討
		全 陽	脾外に発生する自己免疫性脾炎関連病変（IgG4関連病変）の病理学的検討
2004 (平成16)	50 (名古屋)	九嶋 亮治	胃型（幽門腺型）腺腫の臨床病理、組織発生と染色体・遺伝子異常
		水谷 喜彦	
		久岡 正典	
2003 (平成15)	49(東京)	蔦 幸治	肺原発印環細胞癌の臨床病理学的解析
		廣田 誠一	多発性GIST3家系の病理学的解析
		山口 岳彦	良性脊索細胞腫：脊索細胞由来腫瘍の疾患概念の考察
		関 邦彦	前立腺性酸性フォスファターゼはIntravascular lymphomaの腫瘍マーカーとなりうるか
2002 (平成14)	48 (岡山)	三浦 克敏	Phosphoglyceride crystal deposition disease 6例の臨床病理学的特徴
		森 正也	肝細胞腺腫の臨床病理学的検討、特に類洞様血管内皮細胞の毛細血管化について
		宇於崎 宏	「放射線大量被ばくの病理」東海村臨界事故症例の病理解剖学的所見
2001 (平成13)	47 (東京)	山本 智子 他	神経病理学的の視点からみた福山型先天性筋ジストロフィーにおける中枢神経病変の形成機序
2000 (平成12)	46 (仙台)	野々村昭孝 他	肝臓原発の血管筋脂肪腫の病理組織学的多様性：その組織分類と増生パターン
		川島 篤弘 他	
		宮崎 龍彦 他	
1999 (平成11)	45 (東京)	丸山 博司 他	臨床的に確診された原因遺伝子異常（TSC2）を検出したLAMおよびMMPHを合併する結節性硬化症の一例
		伏見 博彰 他	ステント付き人工血管留置術による大動脈壁の病理学的変化
		長嶋 洋治	色素嫌性腎細胞癌21例の病理組織学的検討
1998 (平成10)	44 (奈良)	浅野 重之	急性無機水銀中毒症の3割検例-生化学的、病理学的および免疫組織化学的検討-
		西田 尚樹 他	慢性肺動脈血拴塞栓症の病態形態学的解析
1997 (平成9)	43 (東京)	石井 恵子 他	胃粘膜上皮の形質発現を示す子宮頸部病変の解析-悪性腺腫の新しい解釈
		廣田 誠一 他	ヒトGastrointestinal Stromal Tumor（GIST）における <i>c-kit</i> 遺伝子の機能獲得性突然変異
1996 (平成8)	42 (沖縄)	単 良 他	副甲状腺機能亢進症の形態学とclonalityの解析：inconsistencyに注目して
		柴田 亮行 他	家族性筋萎縮性側索硬化症におけるsuperoxide dismutase-1の遺伝子解析と免疫細胞化学的検討
		石田 剛 他	神経線維腫症2型あるいは髄膜腫を合併した蔓状神経鞘腫（plexiform schwannoma）6例の臨床病理学的検討
		木村 伯子 他	結節性硬化症、過誤腫性肺脈管筋腫症、両側腎および肝の血管筋脂肪腫、子宮腺筋症を合併した一例検例-メラノーマ特異抗体HMB45陽性細胞の増殖の関与

1995 (平成7)	41 (東京)	横井 豊治 他	胸腺の孤立性線維性腫瘍 (Solitary Fibrous Tumor) の8例の臨床病理的検討: 多様な悪性像に注目して
		河端 美則	突発性慢性間質性肺炎の自然史をめぐって-その病理発生への提案
		浅野 重之	壊死性リンパ節炎 (Necrotizing Lymphadenitis) の病理発生-独立疾患としてのアポトーシスの意義について-
		本田 孝行 他	胃粘膜上皮の形質を発現した粘液産生細気管支肺胞上皮癌-肺胞上皮癌の新しい解釈-
1994 (平成6)	40 (東京)	深澤雄一郎 他	Infantile Myofibromatosis に生じたMassive Apoptosis-腫瘍退縮の一機序として
		玉井 正光	乳腺における乳管内増殖型の悪性筋上皮腫
1993 (平成5)	39 (東京)	嵩 眞佐子 他	性染色体モザイク症の患者に発生した両側悪性乳腺腫瘍
		澤井 高志 他	新しい膠原病、混合性結合組織病 (M C T D) の病理組織学的特徴と病変発生の機序に関する研究-全国41剖検症例の解析から-
		金子 真弓 他	心、肝、腎に脂質沈着が高度にあったメチルマロン酸血症 (Methylmalonic acidemia) の一剖検例
1992 (平成4)	38 (東京)	村上 一宏 他	肝臓における類上皮型血管内皮腫の一例-培養細胞株の樹立ならびに単クローン性抗体の作製による組織発生の解析-
		今北 正美 他	”炎症性動脈瘤”15例の病理組織学的検討
		佐藤 衛 他	心筋炎における心筋生検組織のEnterovirus Genome RNA のNested RT-PCR法による検索および経時的観察
1991 (平成3)	37 (東京)	徳留 隆博 他	早老症候群様の症状を呈した小児全身性肉芽腫症の一例
		阿部 良行 他	アミロイド間質を伴う異型肺カルチノイド腫瘍の一例
		原田 孝之 他	生体部分肝移植剖検症例の免疫病理学的検討
		岩崎 琢也 他	足底皮膚とホトパピローマウイルス (H P V) : 嚢腫性変化をとまなうH P V -60型感染を中心に
1990 (平成2)	36 (横浜)	高橋 秀宗 他	長期透析患者に生じた進行性多巣性白質脳症-JC virus の cloning と調節領域の解析-
		田中 祐吉 他	慢性 Epstein- Barr Virus 感染症に、肺のTリンパ球増殖性疾患を合併して死亡した小児例
		古田 睦広 他	らい病理解剖2症例にみられたmicrosporidiosis(?)
1989 (平成元)	35 (東京)	和田 了 他	20歳時に突然死した陳旧性勘定動脈瘤の一剖検例-川崎病後遺症として
		佐久間秀夫 他	麻疹感染が疑われた胸腺リンパ体質の1剖検例-リンパ組織内の多核巨細胞 (Warthin-Finkeldey cell) について-
		寺田 充彦 他	Addison 病および糖尿病を引き起こした輸血後 hemochromatosis の一剖検例
		田代 敦 他	房室結節のSo- Called Mesothelioma の1剖検例
		松浦 晃洋 他	著名な成熟好中球増多症を示した肝原発扁平上皮癌の一剖検例

* 1988 (昭和63)年以前の受賞者と演題については現在整理中です。(随時更新予定)